



しものせき市民活動センター
ふくふくサポートフラップだより 令和8年 vol.41

1月

ふくさほねっと！

市民活動のための助成金セミナー「はじめての助成金申請書づくり」 -市民活動の想いをかたちにするために-

日 時 令和8年 2月 7日 (土) 10時～12時 (受付：9時30分～)

会 場 しものせき市民活動センター 大会議室

市民活動団体の立ち上げや活動を充実させるための「助成金」について
申請書の書き方などを分かりやすくご説明します！

◆助成事業についての説明

公益財団法人山口きらめき財団（助成対象：全分野）

一般財団法人愛山青少年活動推進財団（助成対象：青少年健全育成）

公益財団法人河村芳邦記念青少年育成財団（助成対象：青少年健全育成）

対 象 市民活動団体および市民活動団体の立ち上げを考えている方など

定 員 20名（要申込・先着順）

申 込 1月31日（土）までに

しものせき市民活動センター 083-231-1826へ

お電話でお申し込みください。（定員になり次第締切）

※セミナー終了後、ご希望の方には個別相談に応じます。

お申し込み時にご予約ください。（先着6組・1組20分・事前予約制）



講 師

森永 小波 氏

(公益財団法人
山口きらめき財団
助成金担当主任)

受講料
無 料

新年のご挨拶



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当センターの諸行事にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。さて、この4月より始まります「第5次下関市市民活動促進基本計画」に基づき、しものせき市民活動センターも登録団体様、まちづくり協議会様、ボランティアギルド様の今後の活動に寄与すべく、より身近なセミナー、継続的な講座を開催したいと考えています。

市民活動を言葉だけでなく、活動を含めた全般を市民の皆様に周知して頂くためのイベント、広報活動も併せて行います。

この1年が皆様にとってより良き年になるよう、心からお祈り申し上げます。

本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願ひいたします。



休館日のお知らせ

令和8年3月15日(日)は、定期清掃のため、終日休館とさせていただきます。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひいたします。



しものせき市民活動センター ふくふくサポートフラップ

下関市竹崎町四丁目4番2号 ヴェルタワーアクセス

URL <https://fukusapo.net> / MAIL info@fukusapo.net

TEL 083-231-1826

FAX 083-232-1881



★市民活動団体

ゆめシティ&シーモールパネル展を開催しました★

R7年9/14～9/21(ゆめシティ)、R7年10/17～10/24(シーモール)にて、市民活動団体の活動を紹介するパネル展を開催いたしました。ご参加いただいた15団体の皆様、お忙しい中素晴らしいパネルを作成して頂き、誠にありがとうございました。また、ご覧いただいた市民の皆様、市民活動団体様の活動を応援してくださるメッセージをアンケートに多数よせて頂きありがとうございました。今後もパネル展を開催して参りますので、どうぞ宜しくお願ひいたします。

ゆめシティ



シーモール

【参加団体】

NPO法人JACFA下関支部・カナダ友好協会／NPO法人シンフォニーネット
ガールスカウト山口県第30団／金子みすゞの詩を散歩する／川棚温泉観光ボランティアガイドの会
閨門五行歌会／北高夢ロード実行委員会／清末・小月自主防災会／下関空襲・終戦展実行委員会
下関市防災士会／しものせき多文化ひろば／下関友の会／全国心臓病の子どもを守る会山口県支部
檜原ゆうあい会／山の田地区まちづくり協議会（アイウエオ順）

キャンドルナイト

11月15日（土）16日（日）に下関と門司港の共催「閨門海峡キャンドルナイト」が開催されました。今年度、当センターに飾った手作りランタンは、NPO法人スペシャルオリンピックス、檜原ゆうあい会、暁の星幼稚園、天使幼稚園、名陵学園小学校、吉見小学校、吉見中学校の地域の子どもたちが制作に参加し、イベントに豊かな彩りを加えてくれました。

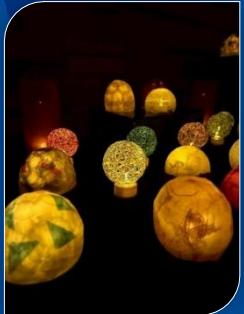
設置デザインは、ボランティアギルドの大学生たちが担当。さらに、ボランティアギルドに登録されている大人の方々のお力添えもいただき、彼らのフレッシュな発想と熱意により、幻想的な空間となりました。ランタンの幻想的な灯りに加え、子ども食堂を運営している「テラノダイドコ」の高校生といしんぴよびよ隊によるコラボレーションステージに中等教育学校の学生バンドによるパワフルな演奏。これら地域を担う学生や団体との共演が、キャンドルナイトに活気と楽しさを添えてくれました。

★4年間の感謝を込めて：学生ボランティアの活躍

1年生の頃から当センターの様々な企画に携わってくれた大学4年生にとっては、これが最後のキャンドルナイトとなりました。学生達がセンターに吹き込んでくれた新しい風と、私たちスタッフにはない視点とパワーは、この4年間にとってかけがえのないものでした。ボランティアに参加してくださった皆さん、心より感謝申し上げます。



ボランティアギルドの
大学生のみなさん



CANDLE NIGHT 2025



ボランティアギルドの
大人の方々



テラノダイドコ



いしんぴよぴよ隊



幼稚園、小学校
中学校作品



中等教育学校
「BLUE SPRING」



登録団体さん
による

川棚温泉観光ボランティアガイドの会 レーベルコラム



「川棚温泉観光ボランティアガイドの会」

代表 小田 紘幸氏

vol.35

川棚温泉観光ボランティアガイドの会は、川棚温泉近郊の名所旧跡をガイドすることを目的に2011年に5名で活動を開始し、現在17名までになりました。

最初のガイドは、大正11年（1922年）国の天然記念物「川棚のクスの森」から開始しました。当初、依頼されてガイドをしましたが、2013年「川棚のクスの森」周辺の整備が完了し公園になりました。その為、多くの見学者が訪れるようになり土、日、祝日にガイドが常駐し、案内を開始しました。多い時には、大型観光バスが10台入ることもありましたが、2017年7月からクスの木の枝の一部が枯れはじめたこと、新型コロナの流行があり、常駐ガイドを一時中断しました。

そこで川棚のクスの森の養生費用の一部として、当ガイドの会で一般の人から募集した寄付金が604,135円集まり、2018年に全額、下関市に寄付いたしました。川棚のクスの森の再生として、水圧穿孔法（土壤の通気性、透水性の改善）や枯れ枝の剪定などの養生効果が現れたのか、潜伏芽から胴吹きといわれる芽が出て来て、危機的な状況から脱出できたように思います。

そこで川棚のクスの森の養生費用の一部として、当ガイドの会で一般の人から募集した寄付金が604,135円集まり、2018年に全額、下関市に寄付いたしました。川棚のクスの森の再生として、水圧穿孔法（土壤の通気性、透水性の改善）や枯れ枝の剪定などの養生効果が現れたのか、潜伏芽から胴吹きといわれる芽が出て来て、危機的な状況から脱出できたように思います。

我々のガイドも以前と同じ様に、常駐ガイドができる日が来るのを期待しています。



胴吹き（2025）



樹木医（2017）

☆次号へのバトン☆

「NPO 法人ヒューマンネット 21 下関」

代表 井上 隆純 氏



NPO 法人で少子高齢化、過疎化が進む下関市の活性化と熟年者の人生充実に取り組んでいる、また「まちづくりグループ発揮会」の会長としても活動されている井上隆純氏に次回のコラムをお願いします。

次回の掲載 お楽しみに！

「川棚温泉観光
ボランティアガイドの会」
代表 小田様のご紹介